

折り曲げ不要!さらに適用拡大したネジプレート

免震を含め全てを直線機械式定着で工事の機械化推進

概要

JFE条鋼の「ネジプレート定着工法」(SABTEC評価12-01※1)により、主筋端部の折り曲げを一切不要な機械式定着工法とし、鉄筋工事の機械化に貢献致します。

評価内容

部位	模式図	説明
免震 上部RC 構造下部 下部RC構造		上下構造体の接合部における、標準配筋方法を具体的に示しました。
RC造 柱絞り部		上階で柱が絞られる柱梁接合部の折り曲げをなくし、全て直線的な配筋を可能としました。
RC造 最下階 幅広基礎梁		梁・梁接合部となる柱断面外の幅広基礎梁主筋の接合も直線機械式定着が可能です。

※1「ネジプレート定着工法」は2019年3月現在で、SABTEC評価12-01R4((一社)建築構造技術支援機構,2017年4月25日)を取得しています。

お問合せ

03-5777-3820 鉄筋棒鋼営業部
06-6443-3364 西日本鉄筋棒鋼営業部



JFE 条鋼 株式会社

JFE